

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	中・東欧地域環境センター(REC)拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	欧州局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成3年度開始, 平成23年度終了		担当課室	中・東欧課		課長 河津 邦彦			
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶー2 国際機関等を通じた経済及び社会分野に係る国際貢献					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中・東欧地域や西バルカン地域などに深い知見と幅広いネットワークを有する中・東欧地域環境センターを通じて我が国が重視する分野の環境関連プロジェクトを実施することにより、国際場裡における我が国のプレゼンスを強化するとともに、環境技術のアピール等、日本企業の裨益も視野に入れつつ、各国環境関係者が一堂に会する場で我が国の取り組みや政策を効果的に発信する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	中・東欧地域や西バルカン諸国等を対象に、環境保全活動、環境法整備支援、気候変動対策、能力開発・人材育成に関するプロジェクトを実施。1993年から「日本特別基金(JSF)」への継続的な拠出を行っており、環境・気候変動分野においては、中・東欧諸国の現状とニーズなど、時宜に適うプロジェクトを実施している。関係諸国の環境関係者・関係機関の参加を得つつ、ワークショップを実施するとともに、その成果をUNFCCCの場で報告している。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	16	13	11	—			
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	16	13	11	—			
	執行額		16	13	11	—			
	執行率(%)		100%	100%	100%	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	中・東欧諸国における環境対策の向上、環境・気候変動分野における我が国の技術及び政策の効果的発信。中・東欧諸国においては、温室効果ガス排出量の大幅削減、西バルカン諸国の京都議定書批准、我が国との排出権取引契約の成立といった進展が見られる。また、我が国企業の関心も高く、22年度に引き続き23年度も住友化学より500万円の寄付が行われた。また、各プロジェクト終了後に報告書を作成している。			成果実績	報告書数	2	1	1	—
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	プロジェクト毎に1件のワークショップを実施。また、その成果をUNFCCCの場等で共有。			活動実績 (当初見込み)	プロジェクト数	2	1 (1)	1 (1)	— ()
単位当たりコスト	11百万円/件			算出根拠	執行額(11百万円)/プロジェクト件数(1件) (23年度)				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	事業費	—	—	廃止					
	計	0	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	日本企業への裨益も視野に入れつつ環境分野における我が国の環境技術や取組を効果的に発信するプロジェクトを実施している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	費用はプロジェクト実施に必要なものに限られ、最大限のコスト削減に努めてきている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	中・東欧及び西バルカン地域に幅広いネットワークを有するRECを通じて、同地域の事情に合わせたプロジェクトを実施している。成果はUNFCCCの場で共有されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	(1) 中・東欧諸国においては、温室効果ガス排出量が大幅削減(例:ポーランドにおいては1990年比で－90%)といった環境対策の進展が見られ、西バルカン諸国(アルバニア、クロアチア、セルビア、モンテネグロ)の京都議定書批准も行われた。ウクライナ、チェコ及びポーランドとの間では我が国との排出権取引契約が成立し、我が国から移転した資金を用いた省エネ事業の形成が進められている。 (2) RECを通じた支援により、我が国は中・東欧諸国からの尊敬と信頼を獲得。我が国による支援は中・東欧各国からも高い評価を得ている。 (3) 我が国としては、これまで最大限コストの削減に努め、効果的・効率的なプロジェクトの実施に努めてきている。今後、一層プロジェクト経費の流れの透明性を高め、より一層事業の経費内容を精査しつつ効果的なプロジェクトを実施するため、平成24年度からは一般経費化した。		
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		－	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	140	平成23年行政事業レビュー	141

個別事業名： 中・東欧地域環境センター(REC)拠出金(任意拠出金)

※平成23年度実績を記入

外務省
11百万円



A. 中・東欧地域環境センター
11百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

個別事業名： 中・東欧地域環境センター(REC)拠出金(任意拠出金)

費目・使途
(「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	REC職員経費	6			
委託費	地域専門家への調査委託	1			
その他	ワークショップ開催経費(会場借料, 飲食費, 旅費), 印刷費等	4			
計		11	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名： 中・東欧地域環境センター(REC)拠出金(任意拠出金)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中東欧地域環境センター	環境関連プロジェクトの実施	11	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					